

日本聖公会 奈良基督教会礼拝堂

親愛幼稚園園舎



教会沿革

- 1885 (明治 18) 年 伝道開始
- 1887 (明治 20) 年 奈良基督教会創立 奈良英和学校設立
- 1909 (明治 42) 年 登大路町に土地 1600 余坪を取得
- 1919 (大正 8) 年 桐苗 700 本植樹
- 1920 (大正 9) 年 奈良盲啞院設立 (小林卯三郎校長)
- 1923 (大正 12) 年 関東大震災 吉村大次郎司祭と 張^{チャンジュンサン} 準 相 青年の出会い
- 1928 (昭和 3) 年 新会堂定礎式
- 1929 (昭和 4) 年 新会館 (現園舎) 完成
- 1930 (昭和 5) 年 現礼拝堂完成 聖別式
親愛幼稚園開園 (園長・吉村大次郎司祭、保育経営・ミス・ヘスター女史)
「子どもたちの魂を豊かに育てる」
- 1982 (昭和 57) 年 学校法人親愛学園親愛幼稚園発足
- 1987 (昭和 62) 年 正面タペストリー、パイプオルガン設置 (100 周年記念)
- 1989 (昭和 64) 年 新聖卓奉献 (ドーマン宣教師記念の樟)
- 1990 (平成 2) 年 シオンホール完成
- 1997 (平成 9) 年 国の登録有形文化財 (礼拝堂・園舎・渡り廊下)
- 2005 (平成 17) 年 セーラハウス完成 マリア館改築完成
- 2014 (平成 26) 年 園舎耐震工事完了
- 2015 (平成 27) 年 奈良県指定有形文化財
国の重要文化財指定 (礼拝堂<渡り廊下を含む>・園舎)

(2017/7/20 改訂 司祭 ヨハネ 井田 泉)

1. 現在の礼拝堂は 1930 年建築

奈良基督教会の信徒で宮大工の大木吉太郎氏による設計・施工。古都奈良の風致景観を考慮して和風木造とした。日本の伝統的建築文化とキリスト教の調和の美しさが高く評価されている。吉野および和歌山の樹齢 150～200 年の檜を選定して切り出し、用いた。鴨居と欄間は教会で育てた桐、聖卓は教会のくすのき樟を用いている。

2. 木造和風の建築であるとともに、キリスト教の礼拝堂としての特徴・性格を明確に備えている。会衆席・チャンセル（聖所）・サンクチュアリ（至聖所）の三分区。三廊式バシリカ型（中央と左右の通路を持ち、中央部と左右部を列柱で区切る。中央部の天井を高くすることで高窓から採光。）。いにしへの奈良の文化とのつながりを感じさせる曲線（聖卓の脚、コミュニオンレール等）。祭壇周りは聖書とその周辺世界、またシルクロードを思わせる意匠、ドイツ製のパイプオルガン……多様な文化の出会い、共存・調和を象徴。

3. 棟瓦（12 箇所） 上に十字架、その下は 2 羽の鳩が向き合っている。

「イエスは、神の霊が鳩のように御自分の上に降って来るのを御覧になった。」 マタイ 1:10

「鳩は夕方になってノアのもとに帰って来た。見よ、鳩はくちばしにオリーブの葉をく

わえていた。」 創世記 8:11

・丸瓦一つ一つに、三つ葉（三位一体のシンボル）に十字架。

4. パイプオルガン （中央の十字架は祭壇の十字架と呼応関係）

教会創立百周年（1987 年）の際にささげられたもの。ドイツ・ボッシュ社製。

パイプの数は 1228 本。ストップは 19 本。

5. リードオルガン

1870（明治 3）年、アメリカ・キンボール社製。日本では現役最古と言われる。

6. 竣工当初の教会の絵図（南東の壁） 創立当時の風情を伝える。

7. 柱 会衆席は角柱 チャンセルは丸柱

「シロでのいけにえの食事が終わり、ハンナは立ち上がった。祭司エリは主の神殿の柱に近い席に着いていた。」 サムエル記上 1:9

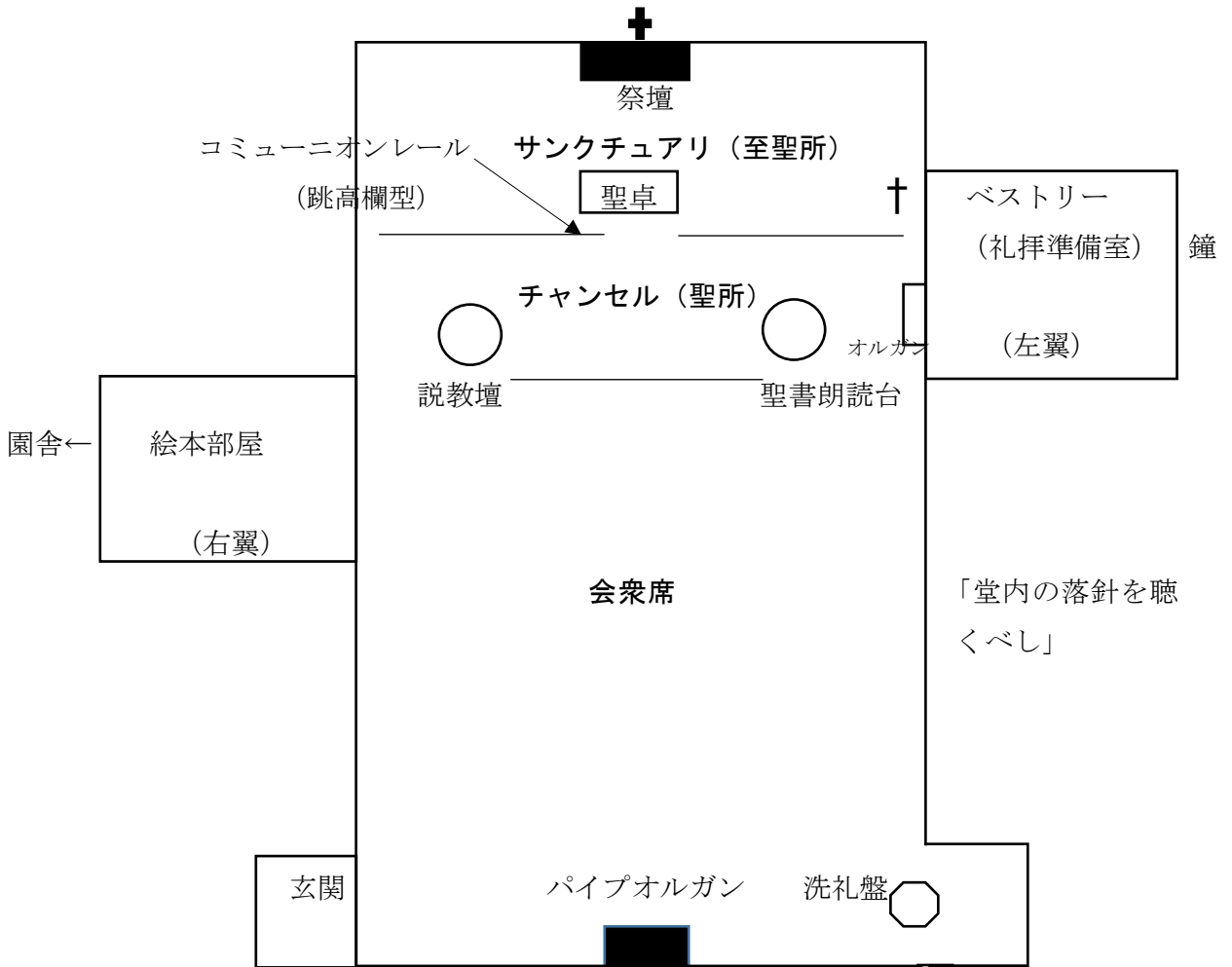
8. 組入れごうてんじょう格天井 格子の形に組まれた天井。無数の十字架あるいは星を思わせる。

9. 鴨居・欄間 雲の形か。天上の聖歌隊を思わせる。

「わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれている」 ヘブル 12:1

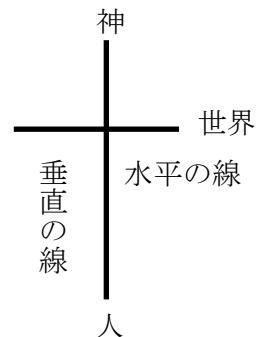
10. 真壁しんかべ 柱を露出させる方式

1 1. 建物全体は十字架の形をなしている。箱舟（創世記 6:14）を伏せた形とも。
 礼拝堂の目的——礼拝のために神に献げられた建物 祈りの空間



1 2. 十字架

イエス・キリストがわたしたちを招く姿
 しっかり立ってわたしたちを支える姿
 わたしたちの重荷を引き受ける姿
 十字架は神と人を結び、人と人、世界を結ぶ



「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。
 わたしがあるがたを休ませてあげよう。」 マタイ 11:28

祭壇上の十字架、花瓶、燭台は七宝焼（金属工芸品）

十字架は正倉院の宝物（おうごんりてんはいのじゅうにりょうきょう黄金瑠璃鈿背十二稜鏡）を模す。

中央にギリシア文字 **X**（キー）と **P**（ロー）（**Χριστός** キリスト から2文字）

祭壇上方には三つの十字架が見える（柱と梁）

左右の壁も十字架が並ぶ——イエスを中心として手をつないでいる人々

「そこで人々はイエスを十字架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。」ルカ 23:33

「もう一人の方が『イエスよ、あなたの御国においてになるときは、わたしを思い出してください』と言った。するとイエスは、『はっきり言うておろが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる』と言われた。』」23:42-43

13. 祭壇・聖卓 主イエスの最後の晩餐の食卓をかたどる。聖餐式（ミサ）は最後の晩餐の再現するものでキリスト教の中心的礼拝。

聖卓は「対面式」の聖餐式（司式司祭と会衆が食卓を囲んで対面する形）をするようになって設置したもの。白布（リネン・クロス）はイエスを包んだ亜麻布（マルコ 15:46）を表す。中央と四隅の刺繍はイエスの五つの傷を示す。

14. ドッサル（祭壇背面装飾）

タペストリー（織物）。管1本ずつに織物を巻き付けてある。

教会創立百周年（1987年）の際にささげられたもの（京都・川島織物製）。

15. 聖書朗読台・説教壇

聖書朗読台は屋根の形。三位一体（父と子と聖霊）のシンボル TREFOIL（三つ葉）が刻まれている。

「わたしが暗闇であなたがたに言うことを、明るみで言いなさい。耳打ちされたことを、屋根の上で言い広めなさい。」マタイ 10:27

祭色 緑、白、赤、紫の4種 教会暦あるいは礼拝の意向によって決める
フロントル（祭壇前掛布）、プルピットフォール（説教壇前掛布）、レクターンフォール（聖書台前掛け布）、ストール、チャリスベール、バース等、色を揃える。

16. 洗礼盤 山口県産の大理石

鳩 聖霊の象徴。主イエスの洗礼のとき くだ降った聖霊を示す。ノアの箱舟にも。

神の小羊 傷を受けて世の罪を除く救い主イエス・キリストのシンボル。

波 世の荒波を渡っていく人生の航路。

八角形 第8は天地創造の7日間の次の数。再創造・新生を示す。四角形は人と世界を象徴し、円は完全なる神を示すとされる。また人が神に引き寄せられて完全に近づいた形。